

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】令和 4 年 1 月 11 日 (2022.1.11)

【公開番号】特開 2021-106419 (P2021-106419A)

【公開日】令和 3 年 7 月 26 日 (2021.7.26)

【年通号数】公開・登録公報 2021-032

【出願番号】特願 2021-63201 (P2021-63201)

【国際特許分類】

H 0 1 Q 1/32 (2006.01)

H 0 1 Q 1/52 (2006.01)

H 0 1 Q 1/22 (2006.01)

H 0 1 Q 21/28 (2006.01)

H 0 1 Q 5/30 (2015.01)

【F I】

H 0 1 Q 1/32 A

H 0 1 Q 1/52

H 0 1 Q 1/22 C

H 0 1 Q 21/28

H 0 1 Q 5/30

【手続補正書】

【提出日】令和 3 年 12 月 2 日 (2021.12.2)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ガラス板と、

前記ガラス板に配置される第 1 給電部と、

前記ガラス板に配置される第 2 給電部と、

前記ガラス板に配置され、複数の水平エレメントを有するデフォッグと、

前記第 2 給電部に接続され、前記デフォッグと容量結合する F M アンテナ素子と、

前記第 1 給電部に接続され、F M 周波数帯域及び D A B 周波数帯域の両方の受信を可能な混合アンテナ素子と、

を備えている、車両用窓ガラス。

【請求項 2】

前記 F M アンテナ素子において、前記デフォッグに最も近接する第 1 近接水平エレメントと、前記デフォッグにおいて、前記 F M アンテナ素子に最も近接する第 2 近接水平エレメントとが、容量結合する、請求項 1 に記載の車両用窓ガラス。

【請求項 3】

前記 F M アンテナ素子の前記第 1 近接水平エレメントと、前記デフォッグの前記第 2 近接水平エレメントとの間の距離が、0 ~ 60 mm である、請求項 2 に記載の車両用窓ガラス。

【請求項 4】

前記混合アンテナ素子は、

前記第 1 給電部から給電を受ける D A B 用エレメントと、

前記第 1 給電部から給電を受ける F M 用エレメントと、

前記第 1 給電部と前記 F M 用エレメントとの間に配置される追加のエレメントと、  
を備えている、請求項 1 から 3 のいずれかに記載の車両用窓ガラス。